

# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 9月分

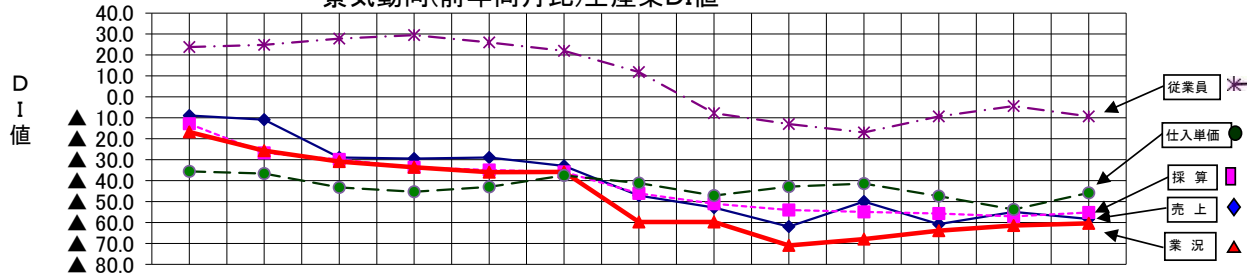
## 【9月の概要】

**先行き見通しは全指標で改善するも、慎重なコメント多数。  
コロナ禍の早期収束へ期待の大きさが窺える。**

継続して悪化していた採算DIがようやく改善に転じ、業況DIは4ヵ月連続で改善。仕入単価DIも3ヵ月ぶりに改善した。一方で売上・従業員DIは前月比で再度悪化に転じた。先行き見通しについては、全ての指標で上向いたが、依然として低水準である。

引き続き先行きを懸念するコメントが多く、「新しい生活様式」に対応する収益構造・ビジネスモデルの変更が必要といった声も聞かれた。コロナ収束への期待の大きさが窺えるものの、その見通しは引き続き不透明である。

景気動向(前年同月比)全産業DI値



## 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2019年9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	2020年9月
売上	▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 28.9	▲ 29.5	▲ 29.0	▲ 33.0	▲ 47.1	▲ 52.9	▲ 62.0	▲ 50.0	▲ 60.8	▲ 55.0	▲ 58.3
採算	▲ 12.9	▲ 26.7	▲ 29.9	▲ 33.7	▲ 35.0	▲ 35.8	▲ 46.1	▲ 51.0	▲ 54.0	▲ 55.0	▲ 55.7	▲ 57.1	▲ 55.2
業況	▲ 16.8	▲ 25.7	▲ 30.9	▲ 33.7	▲ 36.0	▲ 35.8	▲ 59.8	▲ 59.8	▲ 71.0	▲ 68.0	▲ 63.9	▲ 61.5	▲ 60.4
仕入単価	▲ 35.6	▲ 36.6	▲ 43.3	▲ 45.3	▲ 43.0	▲ 37.6	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 42.9	▲ 41.5	▲ 47.4	▲ 53.8	▲ 45.8
従業員	23.8	24.8	27.8	29.5	26.0	22.0	11.8	▲ 7.8	▲ 13.0	▲ 17.0	▲ 9.3	▲ 4.4	▲ 9.4

- ・マイナス幅が減少したDI値：採算1.9ポイント、業況1.1ポイント、仕入単価8.0ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：売上3.3ポイント、従業員5.0ポイント

## 全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
7月	▲ 45.4	▲ 49.5	▲ 48.5	▲ 6.2	▲ 14.4
8月	▲ 42.9	▲ 48.4	▲ 49.5	▲ 7.7	▲ 14.3
9月	▲ 39.6	▲ 42.7	▲ 40.6	▲ 7.3	▲ 7.3

- ・見通しが改善したDI値：売上3.3ポイント、採算5.7ポイント、業況8.9ポイント、仕入単価0.4ポイント、従業員7.0ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：なし

## 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電気工事	工事の中止や延期が続いていたが、来月、再来月くらいから通常工事ができそうな見通し。
	方設備工事	新型コロナによる影響が7月から急に出てきた。先行き不透明感が今後も続くと思われる。
製造業	椅子製造修理	宿泊・外食産業からの工事中止や改装規模の縮小が予想され年明けにかけ受注減が確実と思われる。
	鉄工業	コロナ禍の収束を願うのみ。米中間の経済問題の影響が懸念される。
卸売業	紙製品	昨今の第2波騒動により東京からの仕事も地元印刷業者の仕事も少ない。
	青果	長雨から猛暑へ急激に気候が変化し出荷量は減少傾向。相場は高値で推移。秋野菜への影響が懸念される。
小売業	衣料品	新型コロナウイルスによる影響が続いている。
サービス業	飲食店	「新しい生活様式」に対応する収益構造、ビジネスモデルの変更が必要になっている。
	不動産	在宅勤務の浸透により、賃借契約を縮減する等の可能性が出てきた。
	タクシー	新型コロナウイルスによる影響で自粛が続き人の移動がない。夜の街にも利用者が少ない。